演習のこたえ例

信頼関係を築く保護者支援

～子どもの成長を共に支える「伴走者」として～



徳島県立総合教育センター
特別支援・相談課

保護者の心理

例えば、
小学３年生のＡくん。
学校では、教科書を「読むこと」にたどたどしさがある。
また、板書に時間がかかり、すべてをノートに記述することができません。
そこで、通級指導教室を利用することになりました。
お母さんはいまどんな思い、願いをもっていますか？

保護者の気持ちを想像することが大切。



- 先生から通級指導教室の利用を勧められたけど、そんなにできないのかしら。
- 通級って何をするの？勉強はついていける？
- Aは発達が遅れているの？
- どんな先生が教えてくれるんだろう。
- よくなっていくのかしら。
- 利用しない方がいいんじゃないかしら。
- Aは喜んで通えるのかな。　　などなど

想像

同じスタート
地点に立つ

「よいところ」探しリレー（例）

1　おしゃべりが止まらない

自己表現が豊か、社交的　など

2　すぐにあきらめる

見通しを立てるのがはやい、失敗を避けたい　など

3　頑固で、言うことをきかない

意志が強い、自分をしっかり持っている　など

4　変化に敏感、怖がり

危機管理能力が高い、細やかなところに気づける　など

5　ぼーっとしている

想像力が豊か、自分の世界観がある　など

6　集団に入りにくい

マイペース、慎重派　など

7　手が出る

自己表現が強い、伝えたいエネルギーがある　など

8　落ち着きがない

好奇心旺盛、行動力がある　など

就学前
小学生低・中学年

演習１　リソースをみつけよう

保護者からこんな相談がありました。

- 隠れている、子どもや家族のリソース（強みの資源）を３つ探してみましょう。

スーパーに行くと『あれ買って！』とかんしゃくを起こし、床にひっくり返って泣き叫びます。周囲の視線も冷たくて、本当に自分が責められているようでスーパーに行くのが恐怖です。 最近は、買い物に行く前に紙にお菓子の絵を描いて『今日はこれだけね』と約束してから行くと、たまにうまくいくこともあります。でも失敗した時が怖くて、結局最近は土日に子どもを近くの義理の実家に預けて、私一人で急いで買い物を済ませることが増えました。義母は『いつでも預かるから無理しないで』と言ってくれるのですが、いつまでも甘えられなくて……

リソース（例）

□「いつでもあずかるよ、無理しないで」と気遣ってくれる家族のバックアップがある。
→保護者の孤立が防げる

□事前に絵で約束をする（視覚的支援）を試す保護者がいる。
→成功経験があるから学校などが具体的なアドバイスをしやすい状況

□失敗してストレスをためる前に、一時的に預けて、買い物を済ませるという対処法がある。

小学生高学年
中学生

演習１ リソースをみつけよう

保護者からこんな相談がありました。

- 隠れている、子どもや家族のリソース（強みの資源）を３つ探してみましょう。

毎日学校には行くのですが、帰宅後はイライラがひどく、兄弟に八つ当たりします。 部活の先生から『部活のミーティング中、自分の意見が通らないと急に怒って部屋を出ていってしまった。周りの子も少し引いてしまっている』と連絡をいただき、ショックで…。
家で理由を聞くと『みんなが僕を無視する』と怒るばかりで。ただ、小さい頃からずっと続けている地域のクラブチーム（サッカー）の練習がある日は、帰宅後も機嫌が良くて、自分でユニフォームを洗濯機に入れたりしています。そのチームの監督さんは昔から息子の性格をよく知っていて、『あいつは熱くなりすぎるけど、人一倍責任感が強いんだよ』と認めてくれています。

リソース（例）

□毎日登校している。

□兄弟に八つ当たりをしていることは、「学校でうまくやりたいのにできていない」意思表示をしている。

□学校と家庭以外の環境に「気持ちよく過ごせる安心の場所」がすでに確保されている。
→さらに「責任感が強い」と肯定的に受け止めてくれる理解者がいること。

□『認められている』環境や条件がそろっておけば、自発的にユニフォームを洗濯機に入れることができる。

演習２－１

見方を変えると関わり方が変わる

■保護者の発言から、思いを想像しましょう

うちの子は普通です	検査は必要ありません	兄も同じでした
・我が子を信じたい。 ・障がいのレッテルを貼られたくない。 ・子どもの良さを見てほしい。 ・子どもの気持ちを無視しないでほしい。 など	・検査って何？怖い。 ・障がいがあると診断されたらどうしよう。不安。 ・そもそも検査で何が分かるの？ ・心の準備ができていない。 など	・心配ないと思いたい。 ・自分なりに根拠を見つけておきたい。 ・希望を持っていよう！ ・不安を打ち消したい。